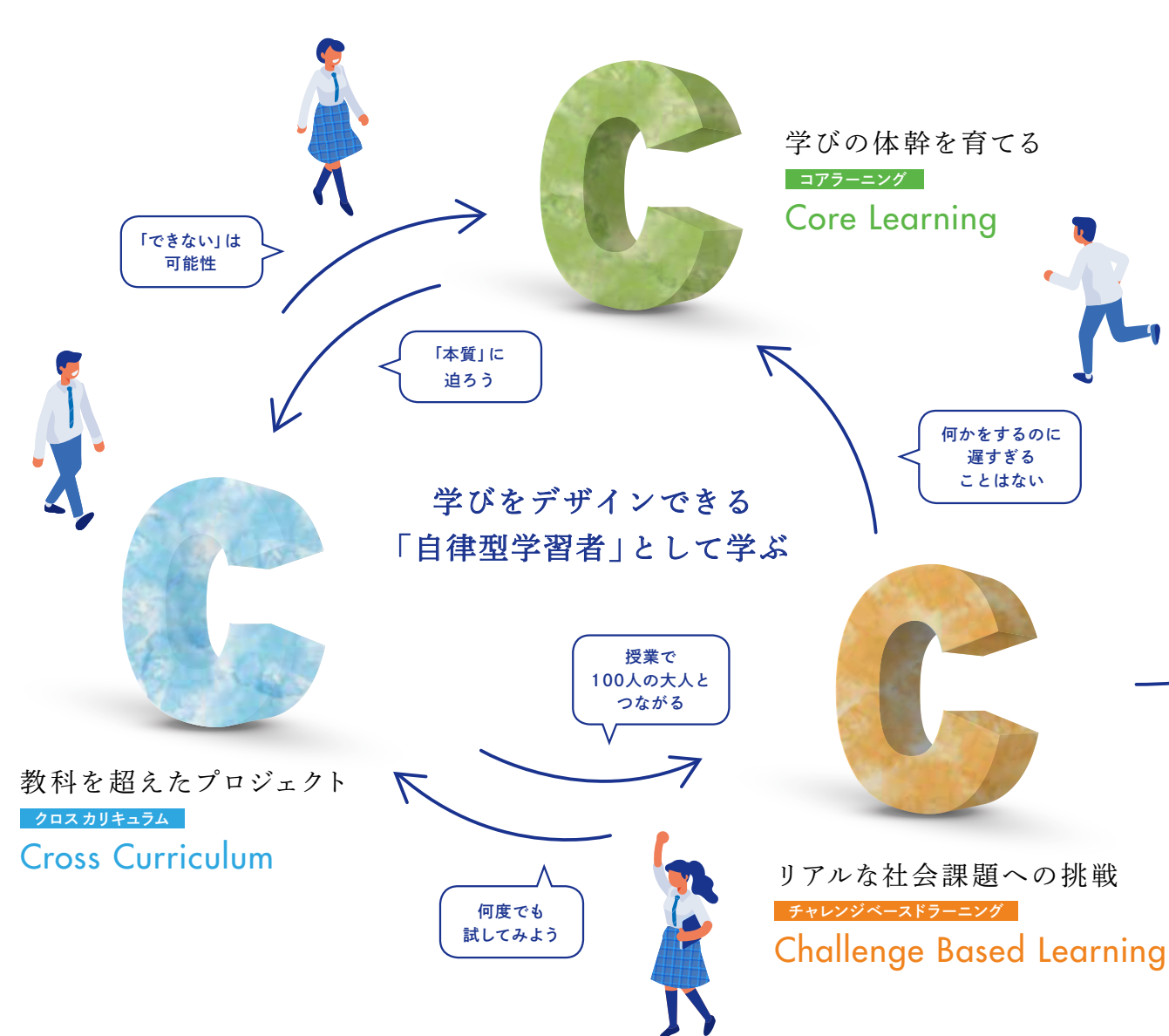


学校案内 2024

新渡戸文化中学校



「しあわせ」になろう。 「しあわせ」にしよう。



日本唯一のカリキュラムと教師陣でお待ちしております

探究型授業で育まれる力が未来を創る

自律型学習者を目指す本校のカリキュラムの中でも、毎週一日を使って行われるクロスカリキュラムは新渡戸文化独自のものです。さまざまな教科の専門性をクロスさせ、全教員によって展開されるこの学びは、生徒たちの主体性と創造性を最大限に引き出しています。

これからの時代に必要な「思考を支える確かな学力」「自ら問いを立てて考え抜く課題解決力」そして「リアルな社会とつながる行動力」は、こうした探究的な学びの中でこそ育まれます。私立ならではの充実した施設と魅力的な教師陣にご期待ください。



新渡戸文化中学校
校長
小倉良之

新渡戸文化中学校では、生徒たちのWell-Being（幸福度）を高め、豊かな人生を歩み続けるための資質・能力を、3Cカリキュラムで実現していきます。目指すは、しあわせのために社会へ行動を起こせる“Happiness Creator”です。



新渡戸文化で
身につける
未来へ羽ばたく力



Happiness Creatorに必要な力として、土台となる4つのハビネスマインドと、6つの自律型コンピテンシーを育てていく教育活動を行なっています。

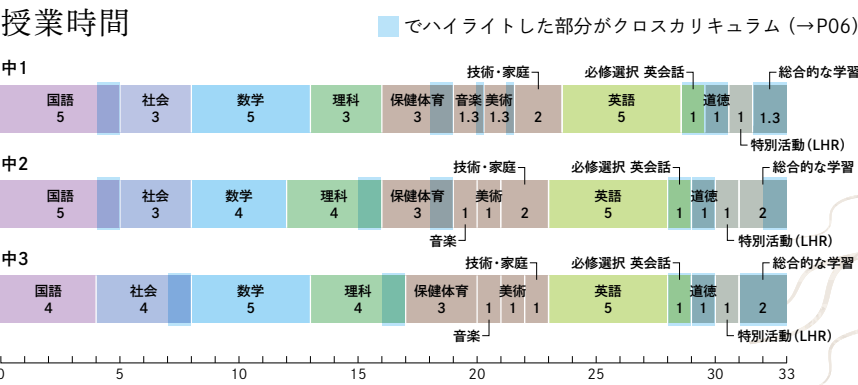
可能性の芽を見逃さず、最大限に伸びる 新渡戸文化の中高6年間

新渡戸文化の学びは、
「**自分を発見すること**」から始まります。
「できないこと」はすべて可能性。
6年間を通して行われる**3Cカリキュラム**を土台として、
「**できない**」を「**できる**」に変えていきます。

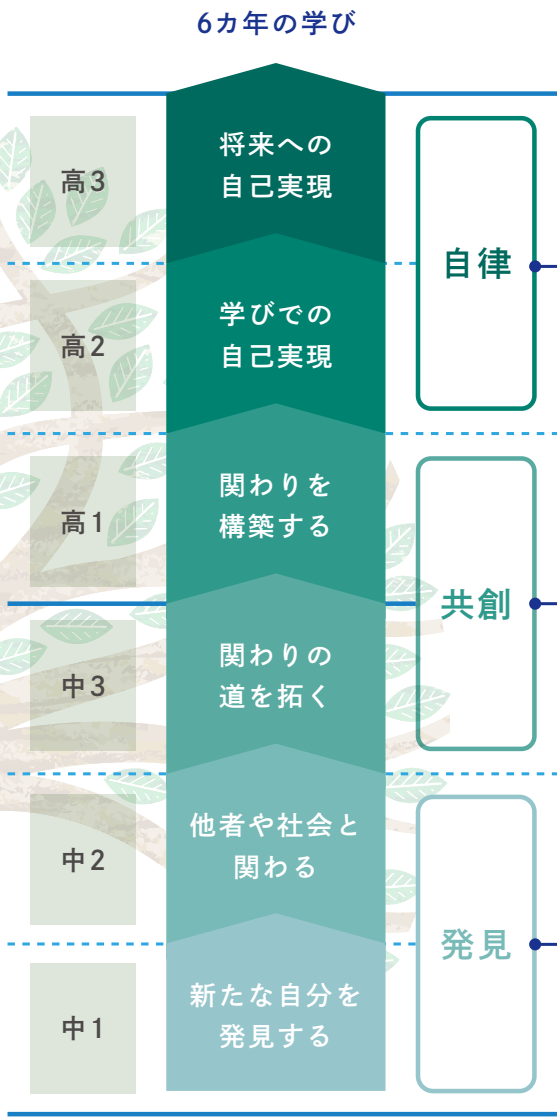
AIを活用した個別最適化学習や教科の枠を超えた学び、
社会とのつながりを感じられるクロスカリキュラム。
学びの過程で欠かせないのが、**仲間との協働**です。

学校は誰もが挑戦できる場。
互いに「できない」を補い合いながら、
新たな可能性を広げていきます。
私たち教員は伴走者として、
子どもたちの**学びの芽**を見逃しません。

生徒一人ひとりが
なりたい自分を実現する**自律型学習者**に育ち、
より良い社会を創っていく
Happiness Creatorとして成長していくのです。



「余白」をとりつつ、十分な授業時間を確保したカリキュラムとなっています。
国語、社会、理科などの教科は、「クロスカリキュラム授業」の一部になっているため、
教科を超えた横断的な学びができます。詳細な時間割はP13にあります。
※カリキュラムは2023年度のもの。社会情勢等に応じて変更することがあります。



Keyword

自律

社会を創る
当事者として成長する

- 将来への自己実現 将来の「なりたい自分」「創りたい社会」のイメージを明確に持ち、多様な進路に対応した学びを自律的に行えるようになります。
- 学びでの自己実現 自分の特性とこれまでの経験を社会課題とつなげ、「なりたい自分」「創りたい社会」を描きます。自律的に学ぶことで戦略的学習力が身につきます。

Keyword

共創

「助けようか」があるから
「助けて」が言える

- 関わりを構築する 高校から入学する生徒との共創により、関わりを構築する力を育みます。共創の経験を共有することで、未来を描く原動力が生まれます。
- 関わりの道を拓く つながり始めた生徒と協働的に学び、共創の経験を重ねます。多様な外部の大人からも学ぶことで、広い社会との関わりが広がります。

Keyword

発見

「自分ってなんだろう」から
「何のために学ぶのだろう」へ

- 他者や社会と関わる 協働的な学びや、クロスカリキュラムで外部の大人と連携する中で「楽しい」を増やし、自分の新たな可能性を発見します。
- 新たな自分を発見する 「自分とは何か?」「自分の強みは何か?」を捉え、それぞれの強みを組み合わせて協働することで、「できる自分」を発見します。

3Cカリキュラム



C

ore Learning

学びの体幹を育てる
コアラーニング

コアラーニングはすべての学びの土台を築くための教科基礎学習の時間です。3Cカリキュラムのあとの2つのC（Cross Curriculum, Challenge Based Learning）を本質的に進めていくための体幹となる力です。



自律的で能動的な学びへの仕掛け 課題とクリエイション



生徒は全員iPadを購入しており、授業はロイロノート、Keynote、SketchesなどiPadを最大限利用しながら進めます。課題は従来のドリル的な学習に留まることなく、クリエイション活動を多く課します。日々のクリエイティブな表現・創作を通して学びへの意欲を高めます。

これからの世界を創る 同世代とつながる英語授業



英語教育では、海外の同世代の子どもたちとつながるスタディツアー（オンライン含む）を目標に英語を学んでいきます。単語を増やすことも、文法を理解することも、教科書を学ぶことも、すべて「英語を使う」ことを意識し、AI教材Qubenaも使ってそれぞれのレベルにあった学びも行います。

個別最適化の学習をサポート デジタル学習教材



各々の学習目的、学びたいタイミングに合わせてマイペースに個々の力を伸ばしていけるよう、さまざまなICTツールを導入し、個別最適の学びを支援しています。Qubena、eboardとも5教科に対応しているため、予習も補習も万全です。mustの学びでなくwantの学びを尊重する仕掛けです。

C

ross Curriculum

教科を超えたプロジェクト
クロスカリキュラム

複数教科の教員によって同時に展開されるクロスカリキュラム（教科横断型授業）で、コアラーニングで得た学びを広げます。教科の枠を超えて課題を読み解くことで、複眼的な思考で学ぶ力がつきます。



好きなことに じっくり取り組む

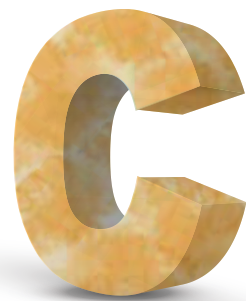
クロスカリキュラムの時間では、大きなテーマ（問い）のもと、自分の興味関心のあることをチームや個人で深めていきます。基本的な流れは、①テーマを設定 ②テーマに対する問いを作る ③問いの答えを学ぶ ④成果を表現、と進めます。表現の仕方は多様で、スライドを使ったプレゼンをはじめ、文章で書いたり、絵や音楽で表現したりする生徒もいます。教員は、それぞれの専門性をいかした助言をするガイド役。一方的に指導していくのではなく、あくまで生徒の興味関心に寄り添って、対話をしながら進めていきます。

N.I.さん

趣味と英語の課題を合わせて、
絵本で表現しました

教科の学びから発展した英語の絵本。園児への読み聞かせも行いました。

趣味でマスキングテープを使った絵を描いていたのですが、夏休みの課題の一つに「英語で絵本を作る」というものがあったので、この絵を使って絵本を作ってみようかなと思い制作しました。この本は、蝶の幼虫と金魚がどんな色の羽の蝶になるかについて話しています。工夫したポイントは、色だけでなく色のイメージも文章に載せたところです。



リアルな社会課題への挑戦

チャレンジベースドラニング

Challenge Based Learning

クロスカリキュラムをさらに発展させ、実社会での具体的な手法を学びに取り入れていきます。企業や外部団体と積極的に連携することで、現実起こっているさまざまな課題を捉え、その解決を目指した学びをしていきます。



急傾斜地での農業体験
(徳島県 美馬郡つるぎ町)

未来に出会う旅、スタディツアー

人生を変えるきっかけの1つは「旅」。「体験に勝る学びなし」を実現するために、全員一緒の場所に行く修学旅行ではなく、それぞれの興味・関心に応じて行き先や内容を選べるスタディツアーを実施しています。普段とは少し違う環境の中での

生活や、体験活動、現地の人とのディスカッションなど、本物に触れる体験を通して自分自身を見つめるきっかけになることを期待しています。スタディツアーに参加した生徒からは、「一次情報の大事さがわかった。現地の人の言葉を聞き、

自分の目で確かめることで、現地の魅力も課題も、自分ごととして考えることができた」「これからは『東京が全て』ではなく、地方からの視点を持ち、政治や経済のニュースを考え、勉強に励んでいきたい」という声があがりました。



福島県 南相馬市

震災復興、まちづくり、Iターン、移住、起業家による地域おこし



和歌山県 西牟婁郡白浜町

ワーケーションの先進地域での取り組み、空き家・耕作放棄地活用、民泊



徳島県 美馬郡つるぎ町

世界農業遺産である急傾斜地でのエシカル農業体験、農家民泊

2022年度の
行き先と
主なテーマ

生徒の「やりたい」ととことん伸ばし、社会につなげるラボ活動

ラボ活動では、生徒の興味・関心に合わせてグループをつくります。生徒たちそれぞれが「知りたい」「深めたい」と思うものに取り組むからこそ、主体的に探究活動が続けることができます。必要に応じて専門家や現場の人にインタビューをしたり、アドバイスをいただくことで、「自分だけの探究」にならないよう、社会へのアクションを意識した活動を行い、さまざまな場で発表しています。多数あるラボ活動から、3つをご紹介します。



第一線で活躍する大人と学ぶ Nitobe Future Labo

新渡戸文化のクロスカリキュラムでは各分野の最先端で活躍している大人と「本気」の対話をすることもできます。写真は、東京オリンピックのメダルやユニフォームを、リサイクルで作ったことで知られる日本環境設計（株式会社JEPLAN）のペットボトルのケミカルリサイクル工場で、最先端の技術を見学しているところです。



サイエンスアゴラに出展！ 実験教室ラボ

実験教室ラボは、アフタースクールや小学校、地域の科学イベントなどの実験教室を企画・実施しています。2022年11月には、科学技術振興機構（JST）が主催する科学と社会をつなぐ大規模なイベント『サイエンスアゴラ』のミニステージに出展しました。ほかの団体は大学や研究機関などが占めるなか、中学2年生が中心となって企画した内容が、厳しい審査を通して見事選ばれました。テーマは「身近に潜む放射線～宇宙から私たちの環境問題を考える～」。当日は放射線の通り道を観測できる霧箱を製作し、観測体験を入りに、環境問題に関する対話を軸にした実験教室を実施。参加者から高い評価をいただきました。



SDGsを窓にして 社会課題を見つけ、行動に移す Action For Future (AFFラボ)

社会が抱える課題や「誰かの困った」を解決するために、「私たちができる一歩を踏み出そう！」と集まったメンバーです。さまざまな企業訪問を通して得た学びを多くの人に伝えようと、動画制作やプレゼンテーションに挑戦しました。写真は「なかのエコフェア」に学校団体として史上初出展し、発表している様子です。

AFFラボの生徒が
作った動画はコチラ！



企業訪問やビーチクリーン、スタディツアーなど、生徒たちのアクションがつまった動画です！

その他の
ラボ活動

- ・「食」のbetter normal 研究所 ～新しい時代の「食」との関わり方～
- ・世界を幸せにするモヤモヤ探究と創造チャレンジ
- ・学び方改革～授業を充実させよう～
- ・生徒が主役の組織の在り方を考える
- ・放課後アップデート など

授業で100人の大人につながる学校

新渡戸文化では、卒業までに「こんな大人になりたい」と思えるロールモデルに出会えることを目指しています。そのため、社会の第一線で活躍している方々をゲストティーチャーとして授業に迎えたり、オンラインで外部の大人とつながる「Happiness Bridge」という対話型の授業を行ったりしています。2022年度までに延べ500人以上の大人に協力していただき、生徒の視野が広がっています。

これまでのゲストティーチャー

- 赤池学氏 ユニバーサルデザイン総合研究所 所長、科学技術ジャーナリスト
- 岩元美智彦氏 日本環境設計（株式会社JEPLAN）会長
- 大日方邦子氏 パラリンピックスキーメダリスト
- 小原壮太郎氏 一般社団法人the Organic 代表理事
- 蒲原慎志氏 NewsPicks 経営企画本部 部長
- 木村泰子氏 大阪市立大空小学校 初代校長
- 渡辺克己氏 ナレーター、俳優



ほか多数

創造と表現の場 学びをつなげ、未来を創る

新渡戸文化では日々の学びにも「創造」と「表現」があります。
そして、さまざまな施設がそれらを支えています。創造や表現はさまざまな生徒のアクションとつながり、その活動を通して学びを深め、興味を広げ、徐々に自分の「未来」をデザインしていけるようになります。



VIVISTOP

“未来”を創る クリエイティブ空間

自分の「創りたい」が誰かに届くことで「未来」をデザインする、それがVIVISTOPの「創造」です。最新デジタルツールや魅力的な材料を使って、「想い」をカタチにする活動を生み出します。授業や放課後、さまざまな場面で生徒が訪れる人気の施設です。

生徒クリエイションギャラリー



ハンドメイドのキーホルダー

VIVISTOPでオリジナルキャラクターのキーホルダーを製作し、新渡戸祭で販売しました。



「野菜くず」から絵を描く

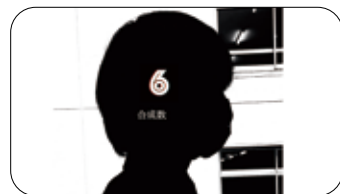
コーヒーの搾りかすや、野菜くずを使って描画。レストランにも飾ってもらいました。



新渡戸祭の看板を手作り

VIVISTOPのレーザーカッターを使って、廃材から作りました。新渡戸祭当日は正門に飾りました。

みんなに注目してもらえよう、見やすさや可愛さを意識して作りました！



数学でクリエイション

自分の好きな数字が、どんな「〇〇数」になるかをイラストで表現しました。



理科×国語で「消化」を表現

理科で学んだ「消化」を漢字とイラストで表現。文字に込められた意味、わかりますか…？

NITOBE THEATER

“未来”を発信する シアター型 プレゼンルーム

NITOBE THEATERは、プレゼンや音楽の発表などをする「表現」の場です。大スクリーンを使ったプレゼンはまさに圧巻。「ここで発表をしたい！」というモチベーションがあるからこそ、生徒の表現力は成長していきます。

自分の学びを広げて、それを発信することができる、新しい交流の場です！



学校へシエスタ導入を提案

授業の取り組みで「理想の学校」を考えた生徒たちから、「シエスタの導入」が提案されました。大画面をうまく活かした説得力のある発表に、シエスタが導入されることになりました。



部活動でのライブも実施

NITOBE THEATERでは、軽音楽部のライブも実施しています。ライブを見た小学生が「一緒にやりたい！」と声を上げ、小中高がコラボしたアコースティックライブも実現しました。



ホームルーム教室

学びは空間から。 登校したくなる教室を デザイン

ホームルーム教室は、「毎日登校したくなる教室」をコンセプトにデザインしています。木目調の床は落ち着いた空間を作ってくれています。壁にはスクリーンにもなるホワイトボードが何枚もあり、さまざまな場所で学びが生まれる工夫がされています。照明は全館LEDのため、いつでも明るく授業を受けることができます。

オリジナルの机と 全教室プロジェクター

机はグループワークがしやすい台形を採用しています。プロジェクターは全教室完備のため、プレゼンもばっちりです。



木目調のロッカーを 一人一台完備

木目調に統一したロッカーを一人一台完備しています。鍵は自分で変更できるタイプのため、セキュリティも安心です。



学びのミライ地図

わたしだけの「未来を描く」

新渡戸文化では「なりたい自分になる」ために「学びのミライ地図」を描きます。

「今の自分」から「なりたい自分」に向けて、どんなことをしていけばよいのかを考え、自分でその道をデザインしていきます。自分と周りをメタ認知※することで、必要なことを自分で選び、進んでいくことができる。だから新渡戸文化の学びは「自律」に向かっていきます。

※メタ認知とは、自分を俯瞰し、一歩引いた立場で見て、判断・行動できる能力のこと。



「現在地」と「なりたい自分」までの道筋を描く

「学びのミライ地図」は、自律型学習者の育成に向けたもっとも重要な手法です。今の自分を理解し、未来へのビジョンを描き、そこに至るまでのタスクや課題を明確にします。さらに、どのようなサポー

トが必要かを自分なりに描くことで、目標達成に必要な行動を、自分だけでなく周りの力も活用して実行できるようになっていきます。「学びのミライ地図」は、中学校生活で何度も描きます。一年を見

越したものや、教科のもの、長期休暇に向けてのものや面談に向けてなど、何度も描くことで、徐々に地図自体もレベルアップしていき、自律するための手段が身についていくのです。

学びを支えるポイント

自律を促すための「対話」とは？

新渡戸文化は日々の対話を大切にしています。教員は、授業はもちろん日常生活の中でのさまざまな声掛けを意識しています。また、面談では「プレゼン型面談」を実施することで、自分の考えやビジョンを表現する機

会を設けています。その際にも「今どんな状態?」「どうになりたい?」「そのためにどんな助けが必要?」という3つの質問を大切にしています。この3つの問いこそが、自律型学習者を育てる最も大切な声掛けです。



「なりたい自分」を目指す学びのミライ地図



やりたいことの
つながりに
気づきました!

学びのミライ地図を描くことで、頭の中が整理でき、これから何をすべきかが明確になりました。私は生き物を大切にしたいと思っていて、想像以上にそれが他の“やりたいこと”につながっていると気づきました。今後はやりたいことを実現し、なりたい自分につなげ、付箋をさらに増やしていきたいです。



Y.O.さん

「10年後」の自分を描く



1学期の振り返りから2学期を描く



2学期の目標を描く



学びを支えるポイント

チーム担任制だから「選べる」

新渡戸文化ではチーム担任制を導入しています。これは、「必要なときに、必要な人を選ぶ」ためです。質問や面談、日々のHRなど、チーム担任制だからこそ柔軟に選択ができます。新渡戸文化の教員は、教師だけ

ではないさまざまな肩書・経歴を持っているため、それぞれの得意分野からアドバイスをできるのが特徴です。もちろん、情報共有が密に行われているため、固定担任制以上のメリットがあります。



学びを支えるポイント

総合学園だから描ける「自分の未来」

新渡戸文化は子ども園から短大まである総合学園です。尊敬できる先輩たち、そして自分の背中を見る後輩たちがいることで、「これまでの自分」と「未来の自分」を感じることができます。授業の中でも「子ども

園での読み聞かせ」があったり、小学生に授業を行ったりするなど、総合学園だからこそ感じるこのことのできるつながりが、自然と「自分の未来」を描くことにつながっていきます。



「余白」のある日々の学び

新渡戸文化の一日は「余白」がたくさんあるのが特徴です。

それでも授業に遅れはありません。個別最適化された学びと、自律を促すプログラムがあるから、基礎をしっかりと身につけながら、それぞれの学びに発展することができます。

2022年度中1の時間割例

	月	火	水	木	金	土
		登校 8:30~9:00 SHR・朝活動 9:00~9:20				
1	体育	数学	CC	技術・家庭	数学	英語
2	理科	音楽	CC	技術・家庭	国語	数学
3	NTBC	美術	CC	数学 学年混合	理科	社会
			昼食			
4	英語 学年混合	国語	CC	英語	理科	放課後 活動
5	英語 学年混合	国語	放課後 活動	社会	数学 SPL	
6	国語 SPL	体育		社会	英語 SPL	
			放課後活動 18:30 最終下校			

SHR (ショートホームルーム)

Point_1

朝は他校に比べてゆっくりと始まります。9時に登校し、1時間目開始までの時間には対話やワークを行うこともあります。

Point_2

授業は午前3時間、午後3時間です。それぞれの授業は50分間で、グループワークなど、生徒が主体になる授業となっています。

Point_3

週に一日、全日を使ったCC (クロスカリキュラム→P06) の授業があります。学年混合のラボに分かれ、学校外に行くこともあります。

Point_4

NTBCは、Nitobe コンピテンシーを考える時間です。自律型コンピテンシーとハピネスマインド(→P02)を、身につけていきます。

Point_5

SPL (Self Paced Learning) の時間に、自分のペースでその日の学習を振り返ります。

放課後は自分だけの学びを深める時間

放課後は部活動と同じ位置付けで、さまざまなプロジェクトも同時進行します。生徒は、短期のものや長期のもの、校内や学外の他団体とつながる活動、自分たちが関心のあるさまざまなプロジェクトに取り組みます。

部活動

多くの部活動が中高一緒に行われるため、「良い背中」を見て成長することができるのが特徴です。また、多くの部活動でプロの講師による実技指導が行われています。心身ともに大きく成長する多感な時期に「本物」に出会い、熱く取り組むことができます。

部活動

- ・剣道
- ・ダンス
- ・卓球
- ・バスケットボール
- ・美術
- ・軽音楽 など



プロジェクト

授業の延長やそれぞれが関心のあることなど、さまざまな短期のプロジェクトが発生します。もちろん「検定を取るための対策授業」などの学習プロジェクトも豊富。「やってみたい」を実現し、「学びを深める時間」が放課後にあります。

プロジェクト例

- ・檜原村プロジェクト
- ・学校紹介動画作成プロジェクト
- ・藍する新渡戸プロジェクト
- ・オーガニックコットンの栽培と加工
- ・オーガニックコットンマスクプロジェクト
- ・数検対策ワーク
- ・FSC アワードへのエントリー
- ・オリジナル修学旅行の計画
- ・スタディフェスタ装飾プロジェクト



檜原村プロジェクト



藍する新渡戸プロジェクト

登校

School Arrival
9:00

朝活動

Morning Routine
9:00~

1時間目

2時間目

3時間目

昼食

Lunch Time
12:30~13:20

4時間目

5時間目

6時間目

放課後活動

Afternoon Activities
16:10~



授業紹介

オンラインで海を越えてフィリピンと対話する

新渡戸文化では「本物に触れる」学びを大切にしています。英語ではオンラインツールを使ってフィリピンの生徒と対話。何よりも「英語を使って楽しくコミュニケーションができた!」という経験が、その先の学習意欲につながっています。



授業紹介

教科を超えた学びが、日々の授業からも広がる

日々の学習はグループワークやクリエイション中心で、内容は一つの教科に留まらないこともあります。料理と各教科が繋がったり、英語や美術に数学の要素を見出したりすることで、多面的な視点と考え方が自然と身につきます。



ICT

生徒一人一台のiPadは自律型学習のエンジン

iPadは自律の起点でもあり、促すエンジンでもあります。「やってみたい」と思うと同時に、それを広げるツールでもあります。教員主導ではない「それぞれにとって最適な学び」という、21世紀型の教育に必須のアイテムです。

新渡戸文化中学校の学期のサイクル

各学期は「なぜ学ぶのか」を考えるエンゲージ週間から始まります。学期の中間には成績に入らない「実力テスト」を、学期末には「アウトプット型テスト」を行います。いわゆる認知型スキルのみを問う「考査」は行っていません。

- 「なぜ学ぶのか」を問い、学ぶ目的を明確にする
- 「やりたいこと」を具体的にし、行動につなげる

エンゲージ週間
(→P15)

- 目指す目標に向けた認知的な学力を意識する
- テストが目的にならないよう成績には入れない

準備期間 実力テスト

- 学んだ成果を表現する
- 学びの地図を意識して各教科を自律的に学んでいく流れを作る

準備期間 アウトプット型テスト(→P16)

各学期



カラフルでワクワクな一年

新渡戸文化の一年は

自らが主役になれるイベントがたくさん！

どんな一年を創造するのか、

その一歩をどこに踏み出すのかは自分次第です。

ワクワクしながら自分なりの一年を創ろう！



入学式



体育祭

スタディツアー（8月）

学校内に留まらず、
実社会で学びを経験する

学校の外に出て「本物」に触れながら、五感を使って学びます。自分の興味があるコースを選択して出かけるから他人ごとではない楽しい学びがそこにはあるはず！答えだけでなく、旅そのものが教科書であり、次の学びへ導いてくれます。



三重プロジェクトの様子

「やりたい！」から
未来を切り拓く！

新渡戸祭（10月）

テーマに沿ってみんなで表現、
一緒にやるから頑張れる！

新渡戸祭は学園全体を通して行われる大規模な学園祭です。小学校から短大までの多くの生徒や先生が学園祭を盛り上げてくれます。来校してくださった方々が楽しめるように、みんなで知恵を出し合って新渡戸祭を作り上げます。



アウトプット型テスト（7・12・2月）

学びを自分ごと化して、
クラスで共有する

授業での学びや自分で身につけた学びを、さまざまな形で表現します。表面的な学びだけで終わらず、自分がどう考えているのか、他の人はどんな考えを持っているのかを形にすることで、理解を深めます。



卒業生を祝う会



卒業式

4月	5月	6月	7月	8月	9月
- 入学式 - エンゲージ週間	- 体育祭 - 英検 - 中3学力学習状況調査	- 実力テスト - 漢検 - オープンスクール	- アウトプット型テスト - 終業式 - 夏期集中講座	- 数検 - スタディツアー - 部活動合宿	- 始業式 - エンゲージ週間 - 防災訓練

10月	11月	12月	1月	2月	3月
- 新渡戸祭 - 漢検 - 英検	実力テスト	- アウトプット型テスト - 終業式 - 冬期集中講座	- 始業式 - エンゲージ週間 - 英検/GTEC - 数検 - 漢検	- 実力テスト - アウトプット型テスト	- スタディフェスタ - 卒業式 - 卒業生を祝う会

2022年度実績

エンゲージ週間（4・9・1月）

「自分は何を学びたいんだろう？」
を一緒に考える

学校の勉強ってなんのためにやるんだろう？そう考える人は多いと思います。新渡戸文化では一人ひとりが、「勉強が面白い！」「授業が楽しい！」「もっと知りたい！」と思い、自ら行動できる自律型学習者になることを目指しています。そのために、みんなとの対話を通して「今の自分」と「なりたい自分」を探っていく時間を大切にしています。その一つがこのエンゲージ週間です。「なりたい自分」になるために、この学期や授業をどう過ごすかを決める、大切な一週間となります。



さまざまな方法でみんなの価値観を共有することで、自分の価値観も知ることができます。

スタディフェスタ（3月）

クロスカリキュラムの集大成、
自分の研究発表の場！

3学期の年度末に行われる最後の大きなイベントであるスタディフェスタ。一年間かけて探究を続けてきた自分の研究の成果を発表できる場です。発表の形式は自由。ブースでスライド発表をしたり、実物を用意して参加型アウトプットにしたり、ダンスや演奏などでステージ発表をしたりと多種多様です。小学生から高校生までがお互いの研究を学び合い、高め合う、他の学校にはない特別な空間になります。一度参加すると、もっと探究したくなること間違いなし！



与えられたブースをどう使うかは自由。自分の伝えたいことと、聞き手のことを考えて、つくりこみます。

未来を創る人が集う学び舎

「心理的安全性が、創造性を最大化する」が本校の空間コンセプト。
リラックスしながら「もっと知りたい!」とチャレンジを楽しめる環境づくりを大切にしています。
総合学園ならではの多世代共有スペースは、互いに多様性を受け入れながら共創する場所です。



カフェテリア 放課後の自習等で利用します。自分のペースで学ぶことができます。



PC ラウンジ 落ち着いた環境で集中して作業をしたいときにおすすめの場所です。



ライブラリーラウンジ 短大と共用の図書館で、大学の専門書まで揃っています。



ハビネスホール 2021年リニューアル。温かい雰囲気、大人数の授業を行います。



理科室 短大と共用の理科室。ハイレベルな装置も揃っている施設です。



新渡戸キッチン 自慢のキッチンです。つくる、たべる、つながる、笑顔があふれます。



正門 2020年リニューアル。ガーデン調の門で、生徒の登校を温かく迎えます。



グラウンド 自慢の天然芝グラウンド。砂埃が舞わず、さまざまな競技で使えます。



ガーデン 人工芝を敷いた中庭。のんびり寝転がっても気持ちがいい場所です。

自分でコーディネートできる人気の制服

2017年にフルモデルチェンジ。品位と風格を漂わせるグレーの生地を用いて、都会的なセンスを感じさせるデザインに仕上げました。赤や紺のセーターなどコーディネートで自分で選べる工夫が好評です。家庭で洗濯できる素材のため、生徒たちは何事にもアクティブに取り組めます。



生徒一人ひとりの人格を尊重した愛の教育を実践しています

新渡戸稲造博士から受け継いだ思い

かつての五千円札の肖像としても有名な新渡戸稲造博士は、日本の精神文化を流暢な英語で紹介した「武士道」の著者としても知られています。1920年には国際連盟の事務次長を務めるなど、国際人として世界平和に尽力されました。一方で女性の教育

にも力を注ぎ、新渡戸文化学園の前身である「女子経済専門学校」の初代校長も務められました。このように、近代日本の幅広い分野で大きな足跡を残した新渡戸稲造博士の思いをしっかりと受け継いでいるのが、新渡戸文化学園です。



初代校長
新渡戸稲造博士
(1862~1933)

官公庁からの受賞や選抜で、高評価をいただいています



環境省主催「グッドライフアワード」
環境大臣賞(学校部門)を受賞

「2世代教育(100年)による6次産業化を目指した次世代里山利用デザイン・プロジェクト」として応募した本校の取り組みが、私立校では初受賞しました。児童生徒と保護者二世代でオーガニックコットンを育てるなど、100年先の地球と社会を想い、活動しています。

経済産業省「未来の教室」
文部科学省「教育課程実践検証協力校」
令和2、3年度と選出されました!

クロスカリキュラムをはじめとした社会と連携した授業が、文部科学省の「教育課程実践検証協力校」として認められています。また、経済産業省の推進事業「未来の教室」において、2年連続でモデル校に選出されました。今後も産官学連携の中で、新たな学びの研究開発を進めます。

新渡戸文化高等学校

中学校と同じキャンパス内にあり、3つのコースを備えた普通科課程の学校です。それまで培ってきた自律型学習者のマインドは、主体的に考え行動する“学びの羅針盤”へと成長し、さらに責任をもって社会変革を実現する力へと変容していきます。それぞれが幸せにしたい世界に向かって知性を磨き、スキルを身につけます。専任教諭に加え、コースに合わせた併設短大教授やプロフェッショナル講師陣による授業が生徒一人ひとりの進路を豊かにひらきます。

自分のやりたいことを
極める3つのコース

探究進学コース
美術コース
フードデザインコース



未来を共に創るパートナー NITOBE FUTURE ADVISER

新渡戸文化学園の理念に共感し、教育活動へのアドバイスや社会にその取り組みを発信してくれる心強い応援団です。アドバイザーの方々からは生徒や保護者に向けた特別授業や講演も予定しています。ご期待ください!



大空小学校
初代校長
木村泰子さん



慶應義塾大学大学院
システムデザイン・
マネジメント研究科 教授
前野隆司さん



コモンズ投信株式会社
取締役会長 兼 ESG 最高責任者
渋澤 健さん



エシカル協会 代表理事、
ユネスコ 広報大使
末吉里花さん

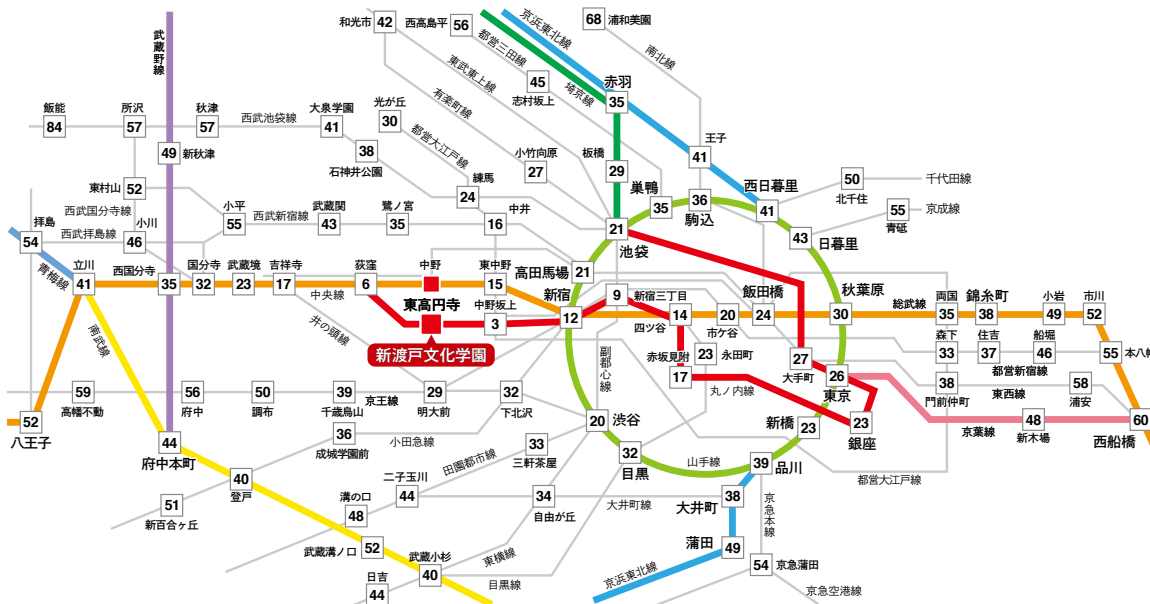
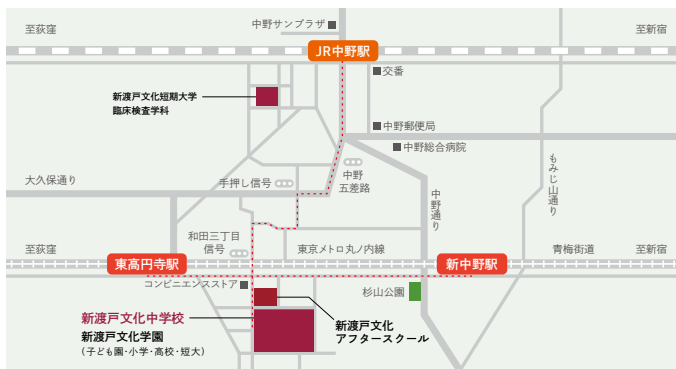
明蓬館高等学校 学校長・理事長
日野公三さん
FutureEdu 代表理事
竹村詠美さん
株式会社 morich 代表取締役
森本千賀子さん
ラーネット・グローバルスクール 代表
炭谷俊樹さん
Think the Earth 理事、
多摩美術大学 客員教授
上田壮一さん
日本パラリンピアンズ協会 会長
大日方邦子さん

ほか、多数!

アクセス

- 東京メトロ丸ノ内線
「東高円寺駅」から徒歩5分、
「新中野駅」から徒歩7分
- JR中央線・東京メトロ東西線
「中野駅」から徒歩15分

※□内の数字は、平日朝9時までに
東高円寺駅に到着する場合の所要分数
(乗り換え時間含む目安)。
※徒歩圏内のJR中野駅からの所要分数は省略。



2023年度 受験生向け学校行事

学校説明会

第1回	2023年5月27日(土)	14:00~
第2回	2023年7月22日(土)	14:00~
第3回	2023年8月26日(土)	10:00~
第4回	2023年9月16日(土)	14:00~
第5回	2023年10月14日(土)	15:00~※
第6回	2023年11月25日(土)	14:00~

- 事前予約可 ● 履物不要
 - 説明会后、校内見学・個別相談あり
- ※オンライン開催

HPで必ずご確認ください。
学校見学は随時可能です(9:00~17:00)。事前にお問い合わせください。

オープンスクール

2023年6月17日(土) 14:00~

- 事前予約推奨 ● 履物不要
- オープンスクール後、個別相談あり

入試傾向説明会

第1回	2023年12月9日(土)	14:00~
第2回	2024年1月13日(土)	14:00~

- 事前予約可 ● 履物不要
- 説明会后、校内見学・個別相談あり

公開行事

校内見学Week

2023年7月24日(月) 10:00~16:00
~ 7月28日(金)

- 要事前予約 ● 履物不要
- 完全個別の校内見学会

公開授業

2023年10月14日(土) 9:40~11:30

新渡戸祭(学園祭)

2023年9月30日(土)、10月1日(日)

- 個別相談会も実施(予約可)
- 両日ともに10:00~15:00

スタディフェスタ(学習成果発表会)

2024年3月2日(土)、3月3日(日)

新渡戸文化中学校

〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1 TEL:03-3381-0408 FAX:03-3381-0508

併設校：新渡戸文化子ども園／新渡戸文化小学校／新渡戸文化高等学校／新渡戸文化短期大学



HP



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube